

2026年度

東京都立大学大学院
経営学研究科 経営学専攻
博士前期（修士）課程
経済学プログラム学生募集要項

この募集による入学者のための授業科目は、主に、平日夜間及び土曜日に本学丸の内サテライトキャンパスにおいて開講されます。

— 9 月入試 —

— 2 月入試 —

東京都立大学大学院 経営学研究科

日程・入試内容に変更がある場合は本研究科ホームページ（大学院入試情報：<https://www.biz.tmu.ac.jp/examinee/entrance/>）に掲載します。

経営学研究科経営学専攻博士前期課程アドミッションポリシー（抜粋）

1 理念

経営学専攻博士前期課程には、経営学プログラム、経済学プログラム、ファイナンスプログラムの3つのプログラムがあり、各プログラムにおいて、次のような分野で体系的なカリキュラムを提供します。

[経営学プログラム] 経営戦略、マーケティング、経営組織・ヒューマンリソースマネジメント・意思決定、会計学、データサイエンス

[経済学プログラム] 経済学、経済史

[ファイナンスプログラム] 投資運用、デリバティブ、リスク管理、金融経済学

上記の各カリキュラムを履修するために必要な能力を判定するため、プログラムごとに選抜試験内容を定めます。

2 求める学生像（経済学プログラムに関する部分を抜粋）

専門分野を学ぶための十分な基礎学力を持ち、以下のようなキャリア形成に意欲的に取り組みながら、自己や社会に新たな価値を創造することのできる人

1. 経済学に関する最先端の研究に携わる多様な研究者と交流して、研究の基礎を固め、将来の研究者を志望する人
2. 経済学の学術的研究成果を経済分析等の実践に活かす能力を身につけたい実務家

3 入学者に求める能力（経済学プログラムに関する部分を抜粋）

1. 経済学（マクロ経済学、ミクロ経済学、計量経済学）、数学・統計、経済史のうち、少なくともひとつの分野に関する専門的知識若しくは素養及び経済学全般にわたる広い知識
2. 志望分野において自らが主体的に問題を発見し、課題を解決する能力
3. 論理的な思考力

4 入学者に求める能力の評価方法（経済学プログラムに関する部分を抜粋）

経済学プログラムにおける選抜試験では、筆答試問と口頭試問を行います。

筆答試問では、その分野に関する知識や論述力を判定し、口頭試問では論理的な思考力を重視して判定します。筆答試問には、試験日に受験会場で受験する科目試験と事前に受験しておく外部試験があります。科目試験は経済史、数学の各分野から出題された問題を選択・解答します。ただし、カリキュラムにおける数学の重要性を鑑みて、経済学分野を志望する者は科目試験「数学」の受験が必須です（外部試験結果を併せて利用することは可能です）。外部試験には経済学検定試験および統計検定があります（分野により利用できる外部試験は異なります）。

提出された書類（研究計画書、英語の外部試験のスコア等）、筆答試問、口頭試問により、上記能力や専門性について総合的に判定します。

※経営学研究科経営学専攻博士前期課程アドミッションポリシーの全文については、以下のURLより参照してください。https://www.tmu.ac.jp/entrance/graduate/admission_policy/eba.html

2026年度 経営学研究科経営学専攻(博士前期課程) 経済学プログラム9月入試

1 募集定員

経営学専攻50名（経済学プログラム・経営学プログラム・ファイナンスプログラムの合計）

経済学プログラムでは10名程度（9月入試、2月入試の合計）を予定しています。また、募集定員に満たない場合でも入学を許可しないことがあります。なお、経営学プログラム、ファイナンスプログラムの募集については、別途要項があります。経済学プログラム9月入試と経営学プログラム一般選抜9月入試、ファイナンスプログラム9月入試を併願することはできません。

2 出願資格

出願時に次のいずれかに該当する者としてします。なお、日本語を母語としない者は、日本国際教育支援協会による日本語能力試験(JLPT)の N1 の認定を受けている必要があります（旧試験の1級の認定を含む）。

- (1) 学校教育法第83条の大学を卒業した者及び2026年3月末までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者）及び2026年3月末までに授与される見込みの者（出願時に大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書を提出できる者）
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月末までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月末までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び2026年3月末までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（2026年3月末までに修了及び学位授与見込みの者を含む）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を

満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号:旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校を卒業した者等)
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、若しくは我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、本研究科の教授会においてあらかじめ定めた単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳(2026年4月1日現在)に達する者

※ 上記出願資格(10)により出願しようとする者は、経営学研究科経営学専攻ホームページ 入試情報ページに掲載の本学所定様式を用いて、出願前に事前審査を受けることができます(事前審査の書類提出期間:2025年6月27日(金曜日)~7月2日(水曜日)消印有効)。事前審査を経ずに出願することは可能ですが、出願資格が認められなかった場合には受験料及び提出書類は返却されません。

3 出願期間等

出願は郵送のみ受け付けます。

受付期間:2025年7月17日(木曜日)~7月22日(火曜日)

2025年7月22日(火曜日)消印有効

※ 封筒の表に「経営学研究科願書在中」と朱書きし、速達簡易書留としてください。

送 付 先 : 〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

東京都立大学管理部 文系学務課 経済経営学部教務係 大学院担当

4 出願手続

出願は、次に掲げる書類を一括して経済経営学部教務係 大学院担当に郵送してください。なお、記載にあたっては、黒色のボールペンを使用してください(消せるボールペン(フリクションボール等)の筆記用具は不可)。受理した書類は返却しません。

- (1) 9月入試入学志願票一式(本研究科所定の様式を使用し、写真票等は切り離さないこと) 1部
- (2) 9月入試口頭試問面接票(本研究科所定の様式) 1部
- (3) 成績証明書(大学学部卒業(見込)者は学部の成績証明書、大学院修了(見込)者は学部及び大学院の成績証明書)の原本(複写不可) 1部
- (4) 卒業(見込)証明書(大学学部卒業(見込)者は学部の卒業(見込)証明書、大学院修了(見込)者は学部及び大学院の卒業(見込)証明書)又は大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書、学位授与申請受理証明書若しくは短期大学長又は高等専門学校長

の学位授与申請（予定）証明書の原本（複写不可）。日本国外の大学・大学院を卒業・修了した方で卒業・修了証明書に学位取得の記載がない場合には、学位取得証明書（原本）も提出してください。学位取得証明書（原本）が、和・英文以外の言語だった場合は、大使館などの公的機関で訳してもらったものも併せて提出してください（日本語学校、翻訳業者等による認証は不可）。

※ 編入学等をされた者は編入学等をする前の学校に在籍していたことがわかるもの（成績証明書、在籍証明書等）の原本を提出してください。…………… 1 部

- (5) 入学考査料（30,000円）の「振込を証明する書類」…………… 1 部
入学考査料の支払方法、「振込を証明する書類」の提出方法及び注意事項に関しては、19ページの「入学考査料の振込方法等について」に記載しています。必ず確認してください。

- (6) 日本語を母語としない者は、日本国際教育支援協会が発行する日本語能力試験 N1(旧試験の受験者は1級)の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」の原本（複写不可）
※日本語能力試験可否結果通知書は受理できませんので注意してください。

…………… 1 部

- (7) 英語を母語としない者は、TOEFL、TOEIC、または IELTS のスコアレポートのコピー …… 1 部
※ 詳細は本ページの「TOEFL、TOEIC 又は IELTS のスコアレポートの提出について」を参照

- (8) 住民票の写し（原本）（外国籍の方のみ）…………… 1 部
市区町村で発行された原本に限ります。自分でコピーしたものは不可とします。住民票記載事項証明書は不可です。

※ 住所が定まっていない場合は、パスポートの写しを提出してください。

- (9) 経済学検定試験・統計検定の成績証明書等のコピー（希望者）…………… 1 部
※ 詳細は5ページ「筆答試験の受験方法について」を参照

- (10) 志望理由書…………… 1 部
志望理由書は、**A4縦長用紙（横書き）片面印刷3ページ以内（ホチキス止め不可）に氏名を記入の上、日本語で記述**してください（パソコン等での作成可。印刷は片面にしてください）。なお、この志望理由書は選考の対象となりますので、必ず本人が記述してください。志望理由書の具体的な記載内容については、6を参照してください。

- (11) 受験票返信用封筒…………… 1 通
※ 長形3号の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記の上、110円切手（郵便料金が改定された場合は、改定後の金額）を貼付してください。

これは、受験票及び当日の受験案内を送付するものです。受験票が試験4日前までに届かない場合、東京都立大学管理部 文系学務課 経済経営学部教務係 大学院担当まで連絡してください。

- (12) 出願書類により氏名等が相違する場合は、これを確認できる証明書（戸籍抄本等）を添付してください。

- (13) 中華人民共和国の教育機関出身の志望者は18ページの注意事項「中国の大学・大学院を卒業・修了（見込を含む）した者の証明書について」を必ず確認してください。

<TOEFL、TOEIC 又は IELTS のスコアレポートの提出について>

志願者は、あらかじめ受験した TOEFL、TOEIC または IELTS のいずれかのスコアレポート

を提出してください。

【TOEFL について】

入学試験実施日から過去5年以内に受験した TOEFL iBT のスコアレポートのみ有効となります (TOEFL iBT Home Edition、TOEFL ITP は対象外となります)。

出願時に ETS (Educational Testing Service) から本人宛てに送付された Examinee Score Report または Test Taker Score Report のコピーを1部提出し、**原本は試験当日に持参してください** (原本は確認後、試験終了までに返却いたします)。

【TOEIC について】

入学試験実施日から過去5年以内に受験した TOEIC Listening & Reading 公開テスト若しくは団体特別受験制度 (IP テスト※) のスコアレポートのみ有効となります (TOEIC Speaking テスト、TOEIC SW テスト及び TOEIC Bridge は対象外となります)。

出願時に ETS (Educational Testing Service) から本人宛てに送付された Official Score Certificate (公式認定証)、若しくは Score Report (個人成績表) のコピーを1部提出し、**原本は試験当日に持参してください** (原本は確認後、試験終了までに返却いたします)。

※ なお2020年より、TOEIC Listening & Reading の団体特別受験制度 (IP テスト) に、自宅でも受験可能な IP テスト (オンライン) が加わっていますが、IP テスト (オンライン) の結果 (online Test Result) は出願書類としては認めません。

【IELTS について】

入学試験実施日から過去5年以内に受験したアカデミック・モジュールのスコアレポートのみ有効となります (IELTS Online は対象外となります)。

出願時に試験実施機関から本人宛てに送付された Test Report Form のコピーを1部提出し、**原本は試験当日に持参してください** (原本は確認後、試験終了までに返却いたします)。

※ 複数の試験を受験した場合 (例えば、TOEFL 及び TOEIC の両方を受験した場合) は、複数の試験のスコアを提出することができます。その場合は、本人にとって一番有利となる試験で採点いたします。

※ TOEFL、TOEIC および IELTS のスコアレポートについては、受験者の請求により各試験実施団体が過去2年以内に受験した試験のスコアレポートを発行します。詳細については各試験実施団体に照会してください。

5 プロジェクトの選択

17ページの「教育研究プロジェクト一覧」及び「専任教員一覧」等を参考にして、出願書類の入学志願票等には「経済学」「経済史」のいずれかに○をつけてください。口頭試問面接票の「修士論文テーマの希望分野」も必ず記入をしてください。

6 志望理由書

志望理由書では、以下の内容についてA4用紙3枚以内で記述してください。

※ 1 ページ目の右上に氏名を記載してください。

- (1) 志望理由（なぜ経済学を学びたいか、なぜ本学経済学プログラムを志望するのか）
- (2) 研究テーマ（修士論文のテーマ、そのテーマを選んだ理由と背景、どのような方法を用いるのか、どのような分野に関係しているのか、それに対して自分が準備したことは何か）
- (3) 入学のための準備（これまで経済学について学習したこと、これまでに読んだ経済学の専門書と論文。英語、数学、統計学、データ分析、コンピュータの利用、文献の調査のいずれかについて学習したことがある場合は、それがどの程度のものであるかを記述してください）
- (4) 入学後の学習計画について

※ 文献の表記にあたっては、論文の場合は「著者名、発行年、表題、誌名」を、書籍の場合は「著者名、発行年、表題、出版社名」を明記すること

7 選考方法

提出された書類と本研究科で実施する学力試験（筆答試験、口頭試験）の結果により総合的に判断して決定します。

8 学力試験の日程、場所及び試験科目

- (1) 期 日：2025年9月6日（土曜日）
- (2) 場 所：東京都立大学 南大沢キャンパス
東京都八王子市南大沢1-1 京王相模原線「南大沢」駅下車 徒歩5分
- (3) 試験時間：口頭試験 9時～18時の間（筆答試験の時間を除く）
筆答試験 13時～14時30分

※ 具体的な集合場所や時間等は、試験前に送付する当日の受験案内で確認してください。

- (4) 試験科目：経済史、数学（1科目選択。下記「筆答試験の受験方法について」を参照のこと）

※ 数学の出題範囲は、線形代数、微積分、確率、統計です。

※ 天変地異等の不測の事態により筆答試験及び口頭試験を実施できない場合のために、予備日を9月7日（日曜日）に設定しています。学力試験の実施に関する判断はウェブサイト（URL：<https://www.biz.tmu.ac.jp/>）等にてお知らせします。

＜筆答試験の受験方法について＞

経済学プロジェクトを希望する者は、下記 a) を必ず受験すること。さらに、b)、c) の区分のうち一つ以上を選択して受験することができる。なお、選択した区分（複数可）は入学志願票等に記入すること。複数の区分で受験した場合には、最も得点の高いものを筆答試験の得点とする。

- a) 科目試験の「数学」（当日受験）
- b) 外部試験の「経済学検定試験」（注1）
- c) 外部試験の「統計検定」（注2）

経済史プロジェクトを希望する者は、下記 a)、b) の区分のうち一つ以上を選択して受験すること。なお、選択した区分（複数可）は入学志願票等に記入すること。複数の区分で受験した場合には、最も得点の高いものを筆答試験の得点とする。

- a)科目試験の「経済史」(当日受験)
- b)外部試験の「経済学検定試験」(注1)

(注1)「経済学検定試験」

外部試験の「経済学検定試験」を選択する志願者は、日本経済学教育協会の経済学検定試験「E R Eミクロ・マクロ」又は「E R E」の成績証明書(成績通知書は不可)のコピーを出願書類に加えて提出し、原本を入学試験当日に持参して下さい(確認後、試験終了までに返却いたします)。ただし、B+以上の成績であることが要件となります。また、経済学検定試験「E R E」については、「ミクロ経済学」および「マクロ経済学」の成績に基づいて得点を算出します。なお、「経済学検定試験」はC B T (Computer Based Testing) 方式試験の結果と紙媒体による検定試験の結果のいずれも有効です。

(注2)「統計検定」

外部試験の「統計検定」を選択する志願者は、一般財団法人統計質保証推進協会の統計検定1級、準1級、または2級の合格証のコピーを出願書類に加えて提出し、原本を入学試験当日に持参して下さい(確認後、試験終了までに返却いたします)。「統計検定」1級の合格証として、「統計数理」若しくは「統計応用」(少なくとも1分野)のどちらか片方のみの合格証も認めます。なお、「統計検定」は従来の紙媒体による検定試験だけでなく、CBT (Computer Based Testing) 方式試験の結果も有効です。

※ 外部試験は出願期間最終日より前に受験したもののみ受け付けます。外部試験の成績は本研究科の内部規則に則り筆答試験の得点に換算します。外部試験の「経済学検定試験」および「統計検定」の成績証明書等が出願期間内に整わない場合は、当該外部試験の受験票のコピーを出願時に提出して、別途、成績証明書等のコピーを入学試験実施日の1週間前までに送付して下さい。なお、入学試験当日に原本を持参していただくことに変わりはありません。

9 合格者発表

- (1) 期 日 : 2025年9月24日(水曜日) 14時
- (2) 発表方法 : 経営学研究科ホームページ入試情報ページに掲載

URL : <https://www.biz.tmu.ac.jp/examinee/entrance/>

システムの都合により掲載時間が前後する場合があります。

※ 電話による問い合わせには応じられません。

※ 合格者全員に合格通知書を送付します。

10 入学手続

2025年11月下旬に、合格者全員に入学手続書類等を郵送します。合格者は、期限までにシステム入力及び必要書類を東京都立大学管理部 文系学務課 経済経営学部教務係 大学院担当に郵送してください。手続に関する詳細は「入学手続案内」を参照願います。この手続を怠ると入学は許可されません。

- (1) 締 切 日：〈システム入力〉2026年1月30日（金曜日）23時59分
〈書類郵送〉2026年1月30日（金曜日）消印有効
※ 封筒の表に「経営学研究科入学手続書類在中」と朱書し簡易書留としてください。
- (2) 送 付 先：〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1
東京都立大学管理部 文系学務課 経済経営学部教務係 大学院担当
- (3) 入 学 料：東京都の住民 141,000円（予定額）
その他の住民 282,000円（予定額）
※ 「東京都の住民」とは、本人又は配偶者若しくは一親等の親族が入学の日（2026年4月1日）の1年前（2025年4月1日）から引き続き東京都内に住所を有する者をいいます。この認定は、本人が都内に在住の場合は住民票記載事項証明書、その他の場合は都内に在住する配偶者等の住民票記載事項証明書及び本人との親族関係を明らかにする戸籍謄本等により行います。
- (4) 授 業 料：年額520,800円（予定額）
授業料の改定があった場合には、改定後の年額が適用されます。また、授業料は、前期と後期の指定された期日までに、それぞれ年額の2分の1を口座振替していただきます。
なお、入学料と授業料については減額又は免除の制度があります。
また、授業料実質無償化については、東京都公立大学法人のHP
(<https://www.houjin-tmu.ac.jp/topics/topics13247/>) を確認してください。

11 注意事項

- (1) 9月入試と2月入試の両方に出願することも可能です。
- (2) 障がい等により受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、8ページに記載の問い合わせ先まで事前に問い合わせてください。問い合わせ後、2025年7月2日（水曜日）までに、事前協議に必要な「出願に係る協議申出書」（本研究科所定の様式）を東京都立大学管理部 文系学務課 経済経営学部教務係 大学院担当に提出（郵送）してください。
- (3) 受理した書類及び納入された入学料は返還しません。
- (4) 受験に際しては、必ず「受験票」を携帯してください。
- (5) 出願手続や受験に際し不正行為等があった場合、受験あるいは入学の許可を取り消すことがあります。

12 その他

- (1) 最終学歴が大学及び大学院を「卒業（修了）見込み」で受験された者につきましては、入学前に必ず「卒業（修了）証明書」を提出してください。
また、大学改革支援・学位授与機構が発行した学士の学位授与申請受理証明書を提出した者は、入学前に必ず「学位授与証明書」を提出してください。
- (2) 本プログラムは教育訓練給付金制度の対象です（対象経費は入学金及び初年度の授業料）。
- (3) 入学当初からの休学は認められません。
- (4) 授業の時間割は4月初旬頃に実施する「新入生ガイダンス」でお知らせします。
- (5) 入学前に転居等で住所の変更があった場合は、8ページの問い合わせ先まで必ず連絡してください。
- (6) 外国人留学生へのビザ・サポートについて
ビザ・サポートとは、本学への入学に際し、留学ビザの取得、現在の在留資格から在留資格「留学」への変更及び在留期間の更新が必要な者に対して、本学職員がその手続きのサポート

を行うものです。サポートが必要な者は、以下のホームページから「留学ビザ取得・更新サポート申込書」をダウンロードし、必要事項を記入した上で、他の出願書類と一緒に提出してください。

URL : https://www.ic.tmu.ac.jp/study_abroad/visa.html

(注意) 国外在住で新たに留学ビザの取得が必要な者は、在留資格認定証明（COE）を取得する必要があります。しかし、2、3月の申請時期は、入国管理局が大変混み合うため、取得までに時間がかかり、経営学研究科合格者（2月入試）の場合は4月下旬から5月中旬になることが予想されます。学年始め・履修手続きの時期に日本入国待ちになる可能性がありますので、その点をご承知おきいただくとともに、代わりに手続きができる代理人を日本国内で手配してください（9月に実施される試験の合格者であれば、入国管理局への申請サポートを早い時期に行うことができます。国外在住で新たに留学ビザの取得が必要な者は、2月入試よりも9月入試での受験を推奨します）。

- (7) 入学前教育の一環として2026年2月中旬～3月にオンラインで「MathCamp」を実施します。「ミクロ経済学」「経済数学」で必要とされる数学（経済学分野の大学院初級レベル）の概念・計算の理解を目的として、微分・行列・制約付き最大化問題等について講義します（おおよそ90分間×8回相当）。授業計画とスケジュールについては、2025年11月下旬に合格者にMathCamp案内文書を入学手続き書類とともに郵送します。受講登録手続きについては、2026年2月中旬に入学確定者（入学手続きを完了した者）にMathCamp案内文書を電子メールで送付します。9月入試合格者のうち入学確定者の受講希望を受け付けます。

- (8) 個人情報の取扱いについて

本学では、個人情報について以下のとおり法令に基づき取り扱いますので、あらかじめご了承ください。

- 1 本選抜実施において本学が取得した氏名、住所、試験成績、その他出願書類に記載された情報等の個人情報については、入学者選抜（出願処理、選抜処理、選抜実施、合格発表）及び入学手続きを行うために使用します。
また、本選抜実施において取得したデータは入学後の学修状況、卒業後の進路等追跡調査結果等、本選抜以外のデータとともに、東京都立大学での学びや学生生活の改善、広報活動における調査・分析を行うために利用します。これらの調査・分析結果は、個人が特定できない形に処理されて学内外に公表されることがあります。
- 2 本選抜実施において本学が取得した氏名、住所等の個人情報については、入学者のみ、教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料減免・奨学金申請等）、授業料徴収に関する業務を行うために使用します。
- 3 本選抜実施において本学が取得した氏名、メールアドレスの個人情報については、合格者のみ、入学前教育（任意参加）関係の業務（登録、連絡等）を行うために使用します。
- 4 個人情報及びプライバシー情報保護のため、本選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類、及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行いません。

【本プログラムに関する問合せ】

東京都立大学管理部 文系学務課

経済経営学部教務係 大学院担当

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

電話 042 (677) 1111 内線 1715, 1716

メールアドレス : biz@jmj.tmu.ac.jp

2026年度 経営学研究科経営学専攻(博士前期課程) 経済学プログラム2月入試

1 募集定員

経営学専攻50名（経済学プログラム・経営学プログラム・ファイナンスプログラムの合計）

経済学プログラムでは10名程度（9月入試、2月入試の合計）を予定しています。また、募集定員に満たない場合でも入学を許可しないことがあります。なお、経営学プログラム、ファイナンスプログラムの募集については、別途要項があります。経済学プログラム2月入試と経営学プログラム（一般選抜2月入試、公共経営特別選抜）、ファイナンスプログラム2月入試を併願することはできません。

2 出願資格

出願時に次のいずれかに該当する者とします。なお、日本語を母語としない者は、日本国際教育支援協会による日本語能力試験(JLPT)のN1の認定を受けている必要があります(旧試験の1級の認定を含む)。

- (1) 学校教育法第83条の大学を卒業した者及び2026年3月末までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者）及び2026年3月末までに授与される見込みの者（出願時に大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書を提出できる者）
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月末までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月末までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び2026年3月末までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（2026年3月末までに修了及び学位授与見込みの者を含む）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を

満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号:旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校を卒業した者等)
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、若しくは我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、本研究科の教授会においてあらかじめ定めた単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳(2026年4月1日現在)に達する者

※ 上記出願資格(10)により出願しようとする者は、経営学研究科経営学専攻ホームページ 入試情報ページに掲載の本学所定様式を用いて、出願前に事前審査を受けることができます(事前審査の書類提出期間:2025年11月28日(金曜日)~12月3日(水曜日)消印有効)。事前審査を経ずに出願することは可能ですが、出願資格が認められなかった場合には受験料及び提出書類は返却されません。

3 出願期間等

出願は郵送のみ受け付けます。

受付期間:2026年1月5日(月曜日)~1月8日(木曜日)

2026年1月8日(木曜日)消印有効

※ 封筒の表に「経営学研究科願書在中」と朱書きし、速達簡易書留としてください。

送 付 先:〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

東京都立大学管理部 文系学務課 経済経営学部教務係 大学院担当

4 出願手続

出願は、次に掲げる書類を一括して経済経営学部教務係 大学院担当に郵送してください。なお、記載にあたっては、黒色のボールペンを使用してください(消せるボールペン(フリクションボール等)の筆記用具は不可)。受理した書類は返却しません。

- (1) 2月入試入学志願票一式(本研究科所定の様式を使用し、写真票等は切り離さないこと) 1部
- (2) 2月入試口頭試問面接票(本研究科所定の様式) 1部
- (3) 成績証明書(大学学部卒業(見込)者は学部の成績証明書、大学院修了(見込)者は学部及び大学院の成績証明書)の原本(複写不可) 1部
- (4) 卒業(見込)証明書(大学学部卒業(見込)者は学部の卒業(見込)証明書、大学院修了(見込)者は学部及び大学院の卒業(見込)証明書)又は大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書、学位授与申請受理証明書若しくは短期大学長又は高等専門学校長

の学位授与申請（予定）証明書の原本（複写不可）。日本国外の大学・大学院を卒業・修了した者で卒業・修了証明書に学位取得の記載がない場合には、学位取得証明書（原本）も提出してください。学位取得証明書（原本）が、和・英文以外の言語だった場合は、大使館などの公的機関で訳してもらったものも併せて提出してください（日本語学校、翻訳業者等による認証は不可）。

※ 編入学等をされた者は編入学等をする前の学校に在籍していたことがわかるもの（成績証明書、在籍証明書等）の原本を提出してください。…………… 1 部

- (5) 入学考査料（30,000円）の「振込を証明する書類」…………… 1 部
入学考査料の支払方法、「振込を証明する書類」の提出方法及び注意事項に関しては、19ページの「入学考査料の振込方法等について」に記載しています。必ず確認してください。

- (6) 日本語を母語としない者は、日本国際教育支援協会が発行する日本語能力試験 N1(旧試験の受験者は1級)の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」の原本（複写不可）
※日本語能力試験可否結果通知書は受理できませんので注意してください。

…………… 1 部

- (7) 英語を母語としない者は、TOEFL、TOEIC、または IELTS のスコアレポートのコピー …… 1 部
※ 詳細は本ページの「TOEFL、TOEIC 又は IELTS のスコアレポートの提出について」を参照

- (8) 住民票の写し（原本）（外国籍の方のみ）…………… 1 部
市区町村で発行された原本に限ります。自分でコピーしたものは不可とします。住民票記載事項証明書は不可です。

※ 住所が定まっていない場合は、パスポートの写しを提出してください。

- (9) 経済学検定試験・統計検定の成績証明書等のコピー（希望者）…………… 1 部
※ 詳細は13ページ「筆答試験の受験方法について」を参照

- (10) 志望理由書…………… 1 部
志望理由書は、**A4縦長用紙（横書き）片面印刷3ページ以内（ホチキス止め不可）に氏名を記入の上、日本語で記述**してください（パソコン等での作成可。印刷は片面にしてください）。なお、この志望理由書は選考の対象となりますので、必ず本人が記述してください。志望理由書の具体的な記載内容については、6を参照してください。

- (11) 受験票返信用封筒…………… 1 通
※ 長形3号の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記の上、110円切手（郵便料金が改定された場合は、改定後の金額）を貼付してください。

これは、受験票及び当日の受験案内を送付するものです。受験票が試験4日前までに届かない場合、東京都立大学管理部 文系学務課 経済経営学部教務係 大学院担当まで連絡してください。

- (12) 出願書類により氏名等が相違する場合は、これを確認できる証明書（戸籍抄本等）を添付してください。

- (13) 中華人民共和国の教育機関出身の志望者は18ページの注意事項「中国の大学・大学院を卒業・修了（見込を含む）した者の証明書について」を必ず確認してください。

<TOEFL、TOEIC 又は IELTS のスコアレポートの提出について>

志願者は、あらかじめ受験した TOEFL、TOEIC または IELTS のいずれかのスコアレポートを提出してください。

【TOEFL について】

入学試験実施日から過去 5 年以内に受験した TOEFL iBT のスコアレポートのみ有効となります (TOEFL iBT Home Edition、TOEFL ITP は対象外となります)。

出願時に ETS (Educational Testing Service) から本人宛てに送付された Examinee Score Report または Test Taker Score Report のコピーを 1 部提出し、**原本は試験当日に持参してください** (原本は確認後、試験終了までに返却いたします)。

【TOEIC について】

入学試験実施日から過去 5 年以内に受験した TOEIC Listening & Reading 公開テスト若しくは団体特別受験制度 (IP テスト※) のスコアレポートのみ有効となります (TOEIC Speaking テスト、TOEIC SW テスト及び TOEIC Bridge は対象外となります)。

出願時に ETS (Educational Testing Service) から本人宛てに送付された Official Score Certificate (公式認定証)、若しくは Score Report (個人成績表) のコピーを 1 部提出し、**原本は試験当日に持参してください** (原本は確認後、試験終了までに返却いたします)。

※ なお 2020 年より、TOEIC Listening & Reading の団体特別受験制度 (IP テスト) に、自宅でも受験可能な IP テスト (オンライン) が加わっていますが、IP テスト (オンライン) の結果 (online Test Result) は出願書類としては認めません。

【IELTS について】

入学試験実施日から過去 5 年以内に受験したアカデミック・モジュールのスコアレポートのみ有効となります (IELTS Online は対象外となります)。

出願時に試験実施機関から本人宛てに送付された Test Report Form のコピーを 1 部提出し、**原本は試験当日に持参してください** (原本は確認後、試験終了までに返却いたします)。

※ 複数の試験を受験した場合 (例えば、TOEFL 及び TOEIC の両方を受験した場合) は、複数の試験のスコアを提出することができます。その場合は、本人にとって一番有利となる試験で採点いたします。

※ TOEFL、TOEIC および IELTS のスコアレポートについては、受験者の請求により各試験実施団体が過去 2 年以内に受験した試験のスコアレポートを発行します。詳細については各試験実施団体に照会してください。

5 プロジェクトの選択

17 ページの「教育研究プロジェクト一覧」及び「専任教員一覧」等を参考にして、出願書類の入学志願票等には「経済学」「経済史」のいずれかに○をつけてください。口頭試問面接票の「修士論文テーマの希望分野」も必ず記入をしてください。

6 志望理由書

志望理由書では、以下の内容についてA4用紙3枚以内で記述してください。

※ 1 ページ目の右上に氏名を記載してください。

- (1) 志望理由（なぜ経済学を学びたいか、なぜ本学経済学プログラムを志望するのか）
- (2) 研究テーマ（修士論文のテーマ、そのテーマを選んだ理由と背景、どのような方法を用いるのか、どのような分野に関係しているのか、それに対して自分が準備したことは何か）
- (3) 入学のための準備（これまで経済学について学習したこと、これまでに読んだ経済学の専門書と論文。英語、数学、統計学、データ分析、コンピュータの利用、文献の調査のいずれかについて学習したことがある場合は、それがどの程度のものであるかを記述してください）
- (4) 入学後の学習計画について

※ 文献の表記にあたっては、論文の場合は「著者名、発行年、表題、誌名」を、書籍の場合は「著者名、発行年、表題、出版社名」を明記すること

7 選考方法

提出された書類と本研究科で実施する学力試験（筆答試験、口頭試験）の結果により総合的に判断して決定します。

8 学力試験の日程、場所及び試験科目

- (1) 期 日：2026年2月11日（水曜日）
- (2) 場 所：東京都立大学 南大沢キャンパス
東京都八王子市南大沢1-1 京王相模原線「南大沢」駅下車 徒歩5分
- (3) 試験時間：口頭試験 9時～18時の間（筆答試験の時間を除く）
筆答試験 13時～14時30分

※ 具体的な集合場所や時間等は、試験前に送付する当日の受験案内で確認してください。

- (4) 試験科目：経済史、数学（1科目選択。下記「筆答試験の受験方法について」を参照のこと）

※ 数学の出題範囲は、線形代数、微積分、確率、統計です。

※ 天変地異等の不測の事態により筆答試験及び口頭試験を実施できない場合のために、予備日を2月14日（土曜日）に設定しています。学力試験の実施に関する判断はウェブサイト（URL：<https://www.biz.tmu.ac.jp/>）等にてお知らせします。

＜筆答試験の受験方法について＞

経済学プロジェクトを希望する者は、下記 a) を必ず受験すること。さらに、b)、c) の区分のうち一つ以上を選択して受験することができる。なお、選択した区分（複数可）は入学志願票等に記入すること。複数の区分で受験した場合には、最も得点の高いものを筆答試験の得点とする。

- a) 科目試験の「数学」（当日受験）
- b) 外部試験の「経済学検定試験」（注1）
- c) 外部試験の「統計検定」（注2）

経済史プロジェクトを希望する者は、下記 a)、b) の区分のうち一つ以上を選択して受験すること。なお、選択した区分（複数可）は入学志願票等に記入すること。複数の区分で受験した場合には、最も得点の高いものを筆答試問の得点とする。

a) 科目試験の「経済史」（当日受験）

b) 外部試験の「経済学検定試験」（注 1）

（注 1）「経済学検定試験」

外部試験の「経済学検定試験」を選択する志願者は、日本経済学教育協会の経済学検定試験「ERE ミクロ・マクロ」又は「ERE」の成績証明書（成績通知書は不可）のコピーを出願書類に加えて提出し、原本を入学試験当日に持参して下さい（確認後、試験終了までに返却いたします）。ただし、B+以上の成績であることが要件となります。また、経済学検定試験「ERE」については、「ミクロ経済学」および「マクロ経済学」の成績に基づいて得点を算出します。なお、「経済学検定試験」はCBT（Computer Based Testing）方式試験の結果と紙媒体による検定試験の結果のいずれも有効です。

（注 2）「統計検定」

外部試験の「統計検定」を選択する志願者は、一般財団法人統計質保証推進協会の統計検定 1 級、準 1 級、または 2 級の合格証のコピーを出願書類に加えて提出し、原本を入学試験当日に持参して下さい（確認後、試験終了までに返却いたします）。「統計検定」1 級の合格証として、「統計数理」若しくは「統計応用」（少なくとも 1 分野）のどちらか片方のみの合格証も認めます。なお、「統計検定」は従来の紙媒体による検定試験だけでなく、CBT（Computer Based Testing）方式試験の結果も有効です。

※ 外部試験は出願期間最終日より前に受験したもののみ受け付けます。外部試験の成績は本研究科の内部規則に則り筆答試問の得点に換算します。外部試験の「経済学検定試験」および「統計検定」の成績証明書等が出願期間内に整わない場合は、当該外部試験の受験票のコピーを出願時に提出して、別途、成績証明書等のコピーを入学試験実施日の 1 週間前までに送付して下さい。なお、入学試験当日に原本を持参していただくことには変わりはありません。

9 合格者発表

(1) 期 日：2026 年 2 月 24 日（火曜日）14 時

(2) 発表方法：経営学研究科ホームページ入試情報ページに掲載

URL：https://www.biz.tmu.ac.jp/examinee/entrance/

システムの都合により掲載時間が前後する場合があります。

※ 電話による問い合わせには応じられません。

※ 合格者全員に合格通知書を送付します。

10 入学手続

合格発表日に、合格者全員に合格通知書を含む入学手続書類等を郵送します。合格者は、期限までにシステム入力及び必要書類を東京都立大学管理部 文系学務課 経済経営学部教務係 大学

院担当に郵送してください。手続に関する詳細は「入学手続案内」を参照願います。この手続を怠ると入学は許可されません。

(1) 締 切 日：〈システム入力〉2026年3月3日（火曜日）23時59分

〈書類郵送〉2026年3月3日（火曜日）消印有効

※ 封筒の表に「経営学研究科入学手続書類在中」と朱書き簡易書留としてください。

(2) 送 付 先：〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

東京都立大学管理部 文系学務課 経済経営学部教務係 大学院担当

(3) 入 学 料：東京都の住民 141,000円（予定額）

その他の住民 282,000円（予定額）

※ 「東京都の住民」とは、本人又は配偶者若しくは一親等の親族が入学の日（2026年4月1日）の1年前（2025年4月1日）から引き続き東京都内に住所を有する者をいいます。この認定は、本人が都内に在住の場合は住民票記載事項証明書、その他の場合は都内に在住する配偶者等の住民票記載事項証明書及び本人との親族関係を明らかにする戸籍謄本等により行います。

(4) 授 業 料：年額520,800円（予定額）

授業料の改定があった場合には、改定後の年額が適用されます。また、授業料は、前期と後期の指定された期日までに、それぞれ年額の2分の1を口座振替していただきます。

なお、入学料と授業料については減額又は免除の制度があります。

また、授業料実質無償化については、東京都公立大学法人のHP

(<https://www.houjin-tmu.ac.jp/topics/topics13247/>) を確認してください。

11 注意事項

(1) 9月入試と2月入試の両方に出願することも可能です。

(2) 障がい等により受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、16ページに記載の問い合わせ先まで事前に問い合わせてください。問い合わせ後、2025年12月3日（水曜日）までに、事前協議に必要な「出願に係る協議申出書」（本研究科所定の様式）を東京都立大学管理部 文系学務課 経済経営学部教務係 大学院担当に提出（郵送）してください。

(3) 受理した書類及び納入された入学料は返還しません。

(4) 受験に際しては、必ず「受験票」を携帯してください。

(5) 出願手続や受験に際し不正行為等があった場合、受験あるいは入学の許可を取り消すことがあります。

12 その他

(1) 最終学歴が大学及び大学院を「卒業（修了）見込み」で受験された者につきましては、入学前に必ず「卒業（修了）証明書」を提出してください。

また、大学改革支援・学位授与機構が発行した学士の学位授与申請受理証明書を提出した者は、入学前に必ず「学位授与証明書」を提出してください。

(2) 本プログラムは教育訓練給付金制度の対象です（対象経費は入学金及び初年度の授業料）。

(3) 入学当初からの休学は認められません。

(4) 授業の時間割は4月初旬頃に実施する「新入生ガイダンス」でお知らせします。

(5) 入学前に転居等で住所の変更があった場合は、16ページの問い合わせ先まで必ず連絡してください。

(6) 外国人留学生へのビザ・サポートについて

ビザ・サポートとは、本学への入学に際し、留学ビザの取得、現在の在留資格から在留資格「留学」への変更及び在留期間の更新が必要な者に対して、本学職員がその手続きのサポートを行うものです。サポートが必要な者は、以下のホームページから「留学ビザ取得・更新サポート申込書」をダウンロードし、必要事項を記入した上で、他の出願書類と一緒に提出してください。

URL : [https:// www.ic.tmu.ac.jp/study_abroad/visa.html](https://www.ic.tmu.ac.jp/study_abroad/visa.html)

(注意) 国外在住で新たに留学ビザの取得が必要な者は、在留資格認定証明(COE)を取得する必要があります。しかし、2、3月の申請時期は、入国管理局が大変混み合うため、取得までに時間がかかり、経営学研究科合格者(2月入試)の場合は4月下旬から5月中旬になることが予想されます。学年始め・履修手続きの時期に日本入国待ちになる可能性がありますので、その点をご承知おきいただくとともに、代わりに手続きができる代理人を日本国内で手配してください(9月実施入試の合格者であれば、入国管理局への申請サポートを早い時期に行うことができます。国外在住で新たに留学ビザの取得が必要な者は、2月入試よりも9月入試での受験を推奨します)。

- (7) 入学前教育の一環として2026年3月にオンラインで「MathCamp」を実施します。
「ミクロ経済学」「経済数学」で必要とされる数学(経済学分野の大学院初級レベル)の概念・計算の理解を目的として、微分・行列・制約付き最大化問題等について講義します(おおよそ90分間×8回相当)。授業計画とスケジュールについては、2026年2月上旬に受験者にMathCamp案内文書を受験票等の書類とともに郵送します。受講登録手続については、合格発表後に合格者にMathCamp案内文書を電子メールで送付します。2月入試受験者のうち合格者の受講希望を受け付けます。
- (8) 個人情報の取扱いについて
本学では、個人情報について以下のとおり法令に基づき取り扱いますので、あらかじめご了承ください。
- 1 本選抜実施において本学が取得した氏名、住所、試験成績、その他出願書類に記載された情報等の個人情報については、入学者選抜(出願処理、選抜処理、選抜実施、合格発表)及び入学手続を行うために使用します。
また、本選抜実施において取得したデータは入学後の学修状況、卒業後の進路等追跡調査結果等、本選抜以外のデータとともに、東京都立大学での学びや学生生活の改善、広報活動における調査・分析を行うために利用します。これらの調査・分析結果は、個人が特定できない形に処理されて学内外に公表されることがあります。
 - 2 本選抜実施において本学が取得した氏名、住所等の個人情報については、入学者のみ、教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料減免・奨学金申請等)、授業料徴収に関する業務を行うために使用します。
 - 3 本選抜実施において本学が取得した氏名、メールアドレスの個人情報については、合格者のみ、入学前教育(任意参加)関係の業務(登録、連絡等)を行うために使用します。
 - 4 個人情報及びプライバシー情報保護のため、本選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類、及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行いません。

【本プログラムに関する問合せ】

東京都立大学管理部 文系学務課

経済経営学部教務係 大学院担当

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

電話 042 (677) 1111 内線 1715, 1716

メールアドレス : biz@jmj.tmu.ac.jp

教育研究プロジェクト一覧

プロジェクト名	概 要
1 経済学	ミクロ経済学・マクロ経済学・計量経済学を基礎にして、経済現象の理論分析、若しくは実証分析を行います。
2 経済史	歴史的事実の考察・分析や研究史の整理・批判をもとにして、経済現象を解明します。

専任教員一覧

教員氏名	主な講義科目	研究教育内容
教授 岩間 俊彦	社会経済史	近現代イギリスの都市、階級、組織について、史料分析だけでなく、世界史的視野で研究を進めています。
教授 暮石 渉	計量経済学 ミクロ計量経済学	社会保障、家計や家族について実証分析を行っています。家族形成（結婚・離婚、出生）や教育について興味があります。
教授 田中 敬一	経済数学	確率解析を応用した期間構造モデル・レジームスイッチングモデル等のファイナンス分野の研究。
教授 松岡多利思*	マクロ経済学 金融論	金融危機、バブル、金融政策に関する理論的研究を行っています。近年は金融自由化と金融危機の関係性に興味があります。
教授 脇田 成	マクロ経済学特論	マクロ経済の長期停滞と賃金設定の関係について研究しています。
教授 渡辺 隆裕	ゲーム理論	ゲーム理論が専門です。最近是有限戦略集合のゲームの純粋戦略均衡の存在条件について研究しています。
准教授 荒戸 寛樹	マクロ経済学 国際金融論	マクロ経済学と情報の経済学について、理論研究やシミュレーションを行っています。最近では銀行行動にも興味を持っています。
准教授 井澤 龍	西洋経済史	歴史的アプローチにもとづく国際課税と多国籍企業について研究しています。
准教授 小方 浩明	時系列解析	数理統計学、特に時系列解析、経験尤度法、方向統計学、コピュラなどの研究を行っています。
准教授 金子 創	経済思想史	経済学や経済思想の歴史、とりわけアダム・スミスよりも前の時代の言説について研究しています。
准教授 菊地 信義	労働経済学	ミクロ計量経済学の手法を用いて、教育問題、親の就業と子育てや子供の発達の関係などについて研究しています。
准教授 小林 延人*	日本経済史	実証史学の立場から、幕末維新期の日本経済、とりわけ貨幣流通や商家経営について研究しています。
准教授 竹内 祐介	アジア経済史	戦前日本の植民地経済を研究しています。講義ではアジア地域内の関係性に注目して400年にわたるアジア経済の「発展」を扱います。
准教授 白 映旻	国際経済学	国際生産ネットワークまたはGVC（Global Value Chain）分野における貿易理論の現実妥当性を計量分析手法を用いて、研究しています。
准教授 森本 脩平	ミクロ経済学 公共経済学	望ましい制度の設計について検討するメカニズムデザインや社会的選択理論の研究を行っています。

（2026年4月予定。変更の可能性があります。）

*松岡教授、小林准教授は2026年度にサバティカル等のため講義はありません。

中国の大学・大学院を卒業・修了(見込を含む)した者の証明書について

*香港・台湾・マカオを除く

I 出願時において、卒業見込・修了見込の者

- ◆大学が発行する以下の証明書（英語又は日本語）を提出してください。
 - ・学位取得見込証明書
 - ・卒業（修了）見込証明書
 - ・出願締切りから3か月以内の「成績証明書」
- ◆出願後に卒業・修了した者は、速やかに「II 卒業者・修了者」に記載のものを提出してください。

《提出上の注意》

- ・日本語、英語以外の言語（中国語等）の場合は、①証明書原本、②証明書の和訳または英訳の2点提出が必要です。
- ・訳文については大使館などの公的機関で認証を受けてから提出してください（日本語学校、翻訳業者等による認証は不可）。
- ・出身の教育機関から証明書をメール添付で送付されたもの、インターネット等を介して取得し、志望者自身がプリントアウトした証明書は受理しません。必ず、証明書の発行機関が作成した書面の証明書を提出してください。

II 卒業者・修了者

- ◆出願者は『CHSI 中国学歴・学籍認証センター日本代理機構』から東京都立大学管理部文系学務課経済経営学部教務係へ以下の2つを直接郵送するよう申込をしてください。
 - ・高等教育学歴認証（大学以上レベル）（英語）
 - ・高等教育成績認証（大学以上レベル）（英語）

【提出期限】出願期間最終日（消印有効）

【証明書の送付先】

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

東京都立大学管理部 文系学務課 経済経営学部教務係 大学院担当

電 話 042-677-2303

《提出上の注意》

- ・上記以外の学歴証明、成績表は証明書として認めません。
- ・志願者本人からの送付は受け付けません。
- ・締切までに CHSI から郵送で到着した証明書のみ受け付けます。到着が遅れた場合は受け付けませんので、早めに手続きを開始してください。
- ・CHSI 認証申請には所定の手数料が必要です。
- ・学位取得の記載がない場合は、学位取得証明書（原本）と証明書を和訳または英訳したものも併せて提出してください。訳文は大使館などの公的機関で認証を受けてから提出してください（日本語学校、翻訳業者等による認証は不可）。

【参考】

CHSI 中国学歴・学籍認証センター日本代理機構：<http://www.chsi.jp/>

入学考査料の振込方法等について

1 振込方法

入学考査料は、「振込依頼書による支払」又は「Webによる支払」のどちらかを選択し、振込みをお願いいたします。現金及び郵便普通為替証書等での受付は行いません。

振込依頼書を使用して振り込む場合は本学所定の「振込依頼書」が必要です。

「振込依頼書」の送付を希望される場合は、110 円切手（郵便料金が改定された場合は、改定後の金額）を貼付した長形3号の封筒（郵便番号・住所・氏名を明記）と『振込依頼書』送付希望のメモ書きを同封の上、次頁の【問合せ先】に送付してください。なお、そのメモ書きには必ず日中連絡可能な電話番号を明記してください。

受付期限は出願の受付日の初日から遡って2週間前までとします。

(1) 振込依頼書による支払の場合

- ① 入学考査料（30,000 円）は、本学所定の振込依頼書により銀行振込（電信扱）により振り込んでください（ただし、ゆうちょ銀行は除く）。

※ 郵便局では振込みできません。

※ ATM（現金自動預入払出機）での振込みはできません。

※ 振込手数料は各自で負担してください。ただし、みずほ銀行の本支店で振込む場合、手数料は不要です。

- ② 振込依頼書に必要事項を記入し、入学考査料を添えて金融機関窓口へ提出してください。

- ③ 入学考査料を振込み後、受け取った「振込証明書」の取扱銀行収納印を確認の上、『振込を証明する書類』貼付用台紙に貼付し、出願書類とともに提出してください。

※ 【振込期限】

[9月入試]

2025年7月22日（火曜日）

[2月入試]

2026年1月8日（木曜日）

(2) Webによる支払（e - 支払サイト）の場合

e - 支払サイト (<https://e-shiharai.net/>) へ事前申し込みの上、コンビニエンスストア、ページ対応のATM・ネットバンキング、クレジットカード、又は銀聯網決済により納付してください（日本国外からの支払の場合は、クレジットカード、銀聯網決済のみ）。

なお、e - 支払サイトによる申し込みの際は、「カテゴリ選択画面」の1つ目の選択肢で「経営学研究科（経済学プログラム）」を選択し、手続きを進めてください。

※ 振込手数料は各自で負担してください。

- ① 日本語サイトからの支払

支払後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、『振込

を証明する書類』貼付用台紙』に貼付し、出願書類とともに提出してください。

② 英語サイトからの支払

支払後、プリントアウトした「Result page」を出願書類とともに提出してください。

※ 【支払期間】

[9月入試]

2025年7月7日（月曜日）～2025年7月22日（火曜日）

[2月入試]

2025年12月15日（月曜日）～2026年1月8日（木曜日）

出願期間とは異なりますので注意してください。

（注意）

e - 支払サイトにおける手順等に関する質問については、同サイト上の「よくある質問」(<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>) を参照した上で、イーサービスサポートセンターへ問い合わせてください。

2 入学考査料の返還について

出願を受理した後は、原則一度納付した入学考査料は返還しませんので、出願について十分に検討したうえで納付してください。

（注意）

入学考査料を振り込んだが出願しなかった場合又は誤って二重に振り込んでしまった場合には、入学考査料の返還を申請することができます。

詳細は、本学のホームページ「入学考査料・入学料・授業料について」を確認してください。

URL : https://www.tmu.ac.jp/campuslife_career/expenses.html

なお、クレジットカード支払をした者がクレジットカードでの返還を希望する場合は、手数料がかかります。手数料は各自で負担してください。

3 その他

東京都立大学では、地震・豪雨等の被災者に対し、入学考査料を免除する措置があります。入学考査料振込前に、東京都立大学管理部 文系学務課 経済経営学部教務係 大学院担当まで相談してください。

【問合せ先】

東京都立大学管理部 文系学務課

経済経営学部教務係 大学院担当

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

電話042(677)1111 内線1715, 1716

2026年度
東京都立大学大学院経営学研究科(博士前期課程)9月入試入学志願票

〔注意〕次頁の「記入上の注意」をよく読み記入すること。

プログラム・プロジェクト	経済学プログラム プロジェクト (○で選択) 経済学 経済史		※ 受験番号	修 (経済)		
ふりがな		男・女	本 籍 (国籍)		筆答試問(○で選択・複数可)	
氏 名			都 道 府 県	科目試験	経済学 検定試験	統計検定
氏名 (英語表記)						
生年月日	年 月 日 (歳) 2026年4月1日現在で記入					
出願資格	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) 該当する資格に○					
出身大学	国立 大学 学部 公立 学科 私立 学科 外国 学科 年 月 日 卒業・卒業見込					
現住所	〒 TEL - -					
メールアドレス						
日本学生支援機構大学院奨学生の希望の有無				有 ・ 無		

2026年度
入学志願者写真票
(博士前期課程)

写真貼付欄 (縦5cm×横4cm) 出願前3ヶ月以内に撮影したもの

※受験番号	修 (経済)
志望プログラム 該当に○	経済学プログラム (経済学・経済史)
筆 答 試 問 該当に○	科目試験 経済学検定試験 統計検定
ふ り が な	
氏 名	

2026年度
東京都立大学大学院
経営学研究科
(博士前期課程)

学力試験机上票

※ 受 験 番 号	修 (経済)
志望プログラム 該当に○	経済学プログラム (経済学・経済史)
筆 答 試 問 該当に○	科目試験 経済学検定試験 統計検定
ふ り が な	
氏 名	

2026年度
東京都立大学大学院
経営学研究科
(博士前期課程)

受 験 票

※ 受 験 番 号	修 (経済)
志望プログラム 該当に○	経済学プログラム (経済学・経済史)
筆 答 試 問 該当に○	科目試験 経済学検定試験 統計検定
ふ り が な	
氏 名	

(次頁に注意のこと)

学 歴	入学及び卒業年月		学校名		標準修 業年限	
	年	月～	年	月	小 学 校	
	年	月～	年	月	中 学 校	
	年	月～	年	月	高等学校	
	年	月～	年	月	大 学	
	年	月～	年	月	大 学 院	
	年	月～	年	月		
母 語 (必ず記入)						

(注) 学歴については、出願資格(3)(4)(6)(9)の方は小学校から記入。それ以外の者は高等学校から記入のこと。
(注) 標準修業年限とは、学校の定める教育課程のすべてを修了するのに必要であると定められた標準的な年限のこと。[日本の例 小学校：6年、中学校：3年]
(注) 日本語を母語としない者は、要領に従い、「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」の原本を提出すること。

〔記入上の注意〕

1. 太線の枠内をすべて記入すること（※印欄は記入しないこと）。
2. 該当する文字は○で囲むこと。
3. 年齢は**2026年4月1日現在**で記入すること。
4. 現住所は詳細に記入すること。
5. 母語は必ず記入すること。

〔注意事項〕

1. この受験票は学力試験の際、**必ず携帯提示**すること。忘れると受験できません。
2. 筆答試問では開始時刻の20分前までに指定された教室に入ること。

2026年度 9月入試口頭試問面接票

※ 受験
番号 修（経済）

ふりがな			生年月日	年 月 日	
氏 名				(歳) 2026年4月1日現在で記入	
現住所	〒			国籍	
学 歴	高等学校	年 月～ 年 月	高校 卒業		
	大 学	年 月～ 年 月	大学 卒業 卒業見込		
職 歴	年 月～ 年 月				
	年 月～ 年 月				
	年 月～ 年 月				
	年 月～ 年 月				
現在の勤務先	名 称 及 び 部 署				
	職 務 内 容				
	住所 〒				
プロジェクト(いずれかに○)		経済学 経済史			
修士論文テーマの希望分野 (いずれかに○)	1. ミクロ理論		2. マクロ理論	3. データによる実証	
	4. 計量経済学と統計学の理論と手法		5. 歴史的事実の解明	6. その他 ()	
母語(必ず記入)					
備 考	学費の出所	1. 本人 2. 親族 3. その他 奨学金 1. 受けていた 2. 受けていなかった (受けていた場合、受給先 から月額 円)			
	博士前期課程 修了後の希望	1. 大学院博士後期課程進学 2. 就職希望：a. 学校 b. 研究所 c. 会社 d. その他(具体的に) 3. 現在の勤務先に在籍 4. その他(具体的に) 5. 未定			

2026年度
東京都立大学大学院経営学研究科(博士前期課程)2月入試入学志願票

〔注意〕次頁の「記入上の注意」をよく読み記入すること。

プログラム・プロジェクト	経済学プログラム プロジェクト (○で選択) 経済学 経済史		※ 受験番号	修 (経済)		
ふりがな		男・女	本 籍 (国籍)		筆答試問(○で選択・複数可)	
氏 名			都 道 府 県	科目試験	経済学 検定試験	統計検定
氏名 (英語表記)						
生年月日	年 月 日 (歳) 2026年4月1日現在で記入					
出願資格	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) 該当する資格に○					
出身大学	国立 大学 学部 公立 学科 私立 学科 外国 学科 年 月 日 卒業・卒業見込					
現住所	〒 TEL - -					
メールアドレス						
日本学生支援機構大学院奨学生の希望の有無				有 ・ 無		

2026年度
入学志願者写真票
(博士前期課程)

写真貼付欄
(縦5cm×横4cm)

出願前3ヶ月以内に撮影したもの

※受験番号	修 (経済)
志望プログラム 該当に○	経済学プログラム (経済学・経済史)
筆 答 試 問 該当に○	科目試験 経済学検定試験 統計検定
ふ り が な	
氏 名	

2026年度
東京都立大学大学院
経営学研究科
(博士前期課程)

学力試験机上票

※ 受 験 番 号	修 (経済)
志望プログラム 該当に○	経済学プログラム (経済学・経済史)
筆 答 試 問 該当に○	科目試験 経済学検定試験 統計検定
ふ り が な	
氏 名	

2026年度
東京都立大学大学院
経営学研究科
(博士前期課程)

受 験 票

※ 受 験 番 号	修 (経済)
志望プログラム 該当に○	経済学プログラム (経済学・経済史)
筆 答 試 問 該当に○	科目試験 経済学検定試験 統計検定
ふ り が な	
氏 名	

(次頁に注意のこと)

学 歴	入学及び卒業年月		学校名		標準修 業年限	
	年	月～	年	月	小 学 校	
	年	月～	年	月	中 学 校	
	年	月～	年	月	高等学校	
	年	月～	年	月	大 学	
	年	月～	年	月	大 学 院	
	年	月～	年	月		
母 語 (必ず記入)						

(注) 学歴については、出願資格(3)(4)(6)(9)の方は小学校から記入。それ以外の者は高等学校から記入のこと。
(注) 標準修業年限とは、学校の定める教育課程のすべてを修了するのに必要であると定められた標準的な年限のこと。[日本の例 小学校：6年、中学校：3年]
(注) 日本語を母語としない者は、要領に従い、「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」の原本を提出すること。

〔記入上の注意〕

1. 太線の枠内をすべて記入すること（※印欄は記入しないこと）。
2. 該当する文字は○で囲むこと。
3. 年齢は**2026年4月1日現在**で記入すること。
4. 現住所は詳細に記入すること。
5. 母語は必ず記入すること。

〔注意事項〕

1. この受験票は学力試験の際、**必ず携帯提示**すること。忘れると受験できません。
2. 筆答試問では開始時刻の20分前までに指定された教室に入ること。

2026年度 2月入試口頭試問面接票

※ 受験
番号 修（経済）

ふりがな			生年月日	年 月 日	
氏 名				(歳) 2026年4月1日現在で記入	
現住所	〒			国籍	
学 歴	高等学校	年 月～ 年 月	高校 卒業		
	大 学	年 月～ 年 月	大学 卒業 卒業見込		
職 歴	年 月～ 年 月				
	年 月～ 年 月				
	年 月～ 年 月				
	年 月～ 年 月				
現在の 勤務先	名 称 及 び 部 署				
	職 務 内 容				
	住所 〒				
プロジェクト(いずれかに○)		経済学 経済史			
修士論文テーマの希望分野 (いずれかに○)	1. ミクロ理論		2. マクロ理論	3. データによる実証	
	4. 計量経済学と統計学の理論と手法		5. 歴史的事実の解明	6. その他 ()	
母語 (必ず記入)					
備 考	学費の出所	1. 本人 2. 親族 3. その他 奨学金 1. 受けていた 2. 受けていなかった (受けていた場合、受給先 から月額 円)			
	博士前期課程 修了後の希望	1. 大学院博士後期課程進学 2. 就職希望：a. 学校 b. 研究所 c. 会社 d. その他 (具体的に) 3. 現在の勤務先に在籍 4. その他 (具体的に) 5. 未定			

「振込を証明する書類」貼付用台紙

この台紙に以下の①もしくは②の書類を貼付し、出願書類とともに提出してください。

①振込依頼書による支払の場合→「振込証明書」

②Webによる支払の場合（日本語サイト）→「収納証明書」

（「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」の部分を切り取り貼付）

※英語サイトから支払いをした場合の「Result page」はこの用紙に貼付せずに出願書類とともに提出してください。

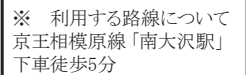
※併願の場合は、この台紙をコピーしてお使いください。

交通案内



主要駅から南大沢駅までの所要時間（時間は最短の場合です）

＜試験会場＞南大沢キャンパス



＜通常授業（博士前期課程）＞ 丸の内サテライトキャンパス



【発行】

2025年 6月

東京都立大学管理部
文系学務課
経済経営学部教務係